

桑名文化協

平成28年9月15日

第 40 号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<http://bunkyo-kuwana.jp>

ご挨拶

桑名市文化協会

会長 荒木敏文



平成28年度第24回桑名市文化協会定期総会において、会長職の選任を受け、真に身の引き締まる思いであります。

さて、今回の改選については、昨年の9月末に今村和子会長の突然の逝去によるものであります。私は、文化協会の運営等について、今村さんが経営する会社の事務所で各部門理事さん達とよく議論をしたこと、また国際交流の事業としての韓国・馬山、ベトナム・ハノイへの訪問、文化協会20周年事業の柏崎市との交流が思い出され、早い旅立ちが断腸の思いであります。

私は、今村会長さんの遺志を継ぎ、文化協会の先導役として、職責を全うしたいと思っております。

さて、当協会は、現在10部門とし、個人会員28名、団体会員101団体、特別会員25社で会員総数は2,060名の団体であります。

本年も、10月から「文化力で桑名の魅力を広げよう」をテーマで桑名市民芸術文化祭を、桑名市民会館・メディアライヴ・六華苑の3か所を会場として開催いたします。開催告知につきましては、ホームページ・チラシ等でご案内する予定であります。

また、来年は協会設立25周年を迎えます。過去5年ごとに、シンポジウム・舞台発表・講演会・交流事業を実施し、桑名市の文化を支える多くの市民の皆様にご参加頂きました。25周年事業につきましては、実行委員会を立ち上げ、知恵を絞り、限られた予算の中でありますが、記憶に残る事業を立案し、市民の皆様にお示ししてまいります。

これからも、総会において提案させて頂きました事業計画を推進し、会員や団体相互の親睦と交流を深め、

桑名市の「文化力」を高めるとともに、地域の活性化に貢献できる協会を目指し努めてまいりますので、引き続き協会の運営・活動にご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新任のご挨拶

桑名市文化協会

副会長 伊藤好子



今年度の総会で荒木敏文会長の就任に伴いこのたび副会長に選出されました。

非力な私が務められるか心配ですが、荒木会長新体制のもと、西村副会長と共に六華苑祭を担当いたします。

芸能Ⅲ部門に所属し二十余年が過ぎ、たくさんの方々との出会いと応援を頂き、舞台活動を続けていられる事の感謝を忘れないように研鑽していきたいと考えます。

歴史と伝統文化に恵まれた私達の桑名の特色を生かし、さらに充実した文化活動のパイプ役になるように努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

三重県文化奨励賞を受賞されました

文化協会会員の安田隆亮さんが絵画の優れた功績が認められ、三重県文化奨励賞を受賞されました。



▲作品名 初夏の候

第25回

桑名市民芸術文化祭

～プログラム～

桑名市民
芸術文化祭

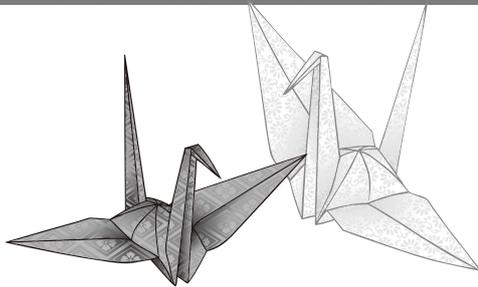
文化力で桑名の魅力広げよう

2016 10/15(土)▶12/4(日)
2017 1/14(土)・15(日)

会場／桑名市民会館・くわなメディアライヴ・六華苑・多度公民館
主催／桑名市・桑名市文化協会

新春|六華苑|祭

【会場】六華苑 【日時】2017年1月14日(土)・15日(日)
【共催】(一財)桑名市文化・スポーツ振興公社



●協賛事業

遠州流春乃茶会

六華苑

平成29年2月5日(日) 10:00~15:00

遠州流の武家茶道を皆様方に披露し、武家茶道の良さをアピールします。

濃茶席・薄茶席・点心席

三席で会費8,000円

趣味教養祭 (桑名愛石会第42回水石展)

10/15(土) 9:00~17:00 10/16(日) 9:00~15:00

場所／くわなメディアライヴ多目的ホール

趣味教養祭 (市民囲碁大会)

10/15(土) 10:15~19:00

場所／桑名市民会館 大会議室

趣味教養祭 (市民将棋大会)

10/16(日) 10:30~19:00

場所／桑名市民会館 大会議室

くわコレ'16ファッションショー

10/22(土) 14:00~16:00

場所／桑名市民会館 小ホール

くわコレ'16作品展示と体験

10/23(日) 9:00~16:00

場所／桑名市民会館 展示室

趣味教養祭 (彫型画・年賀状づくり、パッチワーク・きもの帯結びなど)

10/29(土) 9:00~17:00 10/30(日) 9:00~15:00

場所／くわなメディアライヴ 多目的ホール

小倉百人一首 初心者かるた取り大会

10/30(日) 9:30~12:30

場所／六華苑 一の間

お茶会

11/3(木・祝) 10:00~15:30

場所／六華苑 一の間

華道展

11/2(水)・3(木・祝) 10:00~16:00

場所／六華苑 会議室 番蔵棟

聞香席

11/3(木・祝) 10:00~15:30

場所／六華苑 二の間 離れ屋 旧高須御殿

吟剣詩舞道の祭典

11/6(日) 9:30~16:00

場所／桑名市民会館 小ホール

芸能の祭典 (日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)

11/12(土) 13:00~16:00 11/13(日) 10:00~16:00

場所／桑名市民会館 大ホール

美術部門展

11/17(木) 11:00~17:00 11/18(金)・19(土) 9:00~17:00 11/20(日) 9:00~16:00

場所／くわなメディアライヴ 多目的ホール

音楽のフルコース

11/20(日) 13:00~17:00

場所／桑名市民会館 小ホール

ダンス,DE,パフォーマンス"2016"

12/4(日) 13:00~16:00

場所／桑名市民会館 大ホール

演劇の祭典 ゲキゲキ!2 『鬼サミット』

12/3(土) 13:30~ 18:30~ 12/4(日) 10:30~ 13:30~

場所／くわなメディアライヴ 多目的ホール

「桑名文協」に文芸作品掲載

2017年3月発行

各公民館・市民センターに設置予定

桑名市民芸術文化祭へのお誘い

桑名愛石会・第42回水石展

ご観覧ください

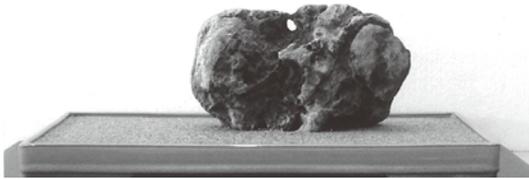
趣味教養部門 中山 雅幸

10月15日(土)・16日(日)にくわなメディアライヴ多目的ホールで桑名愛石会第42回水石展を開催します。

皆さんは「水石」を見たことがありますか。水石は一個の石の形、姿を見立て、水盤、砂、台座、卓を使い「山水情景の世界」を演出します。

素材となる石は全国の河川や山、海岸から産出されますが、地元、員弁川、青川からも古くから知られた名石が出ています。

今回の展示会も会員12名が員弁川を中心に三重県、東海3県、全国で採石した水石、40石を展示します。水石展には県内外からの愛好家も来て頂きます。皆様方のご来場をお待ちしています。



▲員弁川石 銘「月の浦」

桑名愛石会は全国の愛好団体と協力して「盆栽・水石文化を世界遺産登録」への運動に参加しています。ご来場の折はご署名にご協力も宜しくお願い致します。

吟剣詩舞道の祭典

芸能II部門 山田 岳峰

詩吟・剣舞・詩舞を愛好する仲間が一堂に会して、市民会館小ホールで、十一月六日の日曜日に「吟剣詩舞道の祭典」を開催します。この祭典に出場するために、一人一人が愛唱吟の練習にそれぞれの教室で取り組んでいます。

今年度の特別企画として、吟道関心流では、「忠烈の武将楠木正成公を想う」と題した構成吟を発表します。南朝の忠臣として歴史に名を残している楠木正成公を詠んだ詩は、後世の多くの詩人たちによって想いの伝わる詩が残されています。剣舞、詩舞なども交えて発表します。

岳風流桑名吟道会では「菅公 秋思の賦」と題して構成した特別企画を発表します。学問の神様として今なお全国各地で親しまれている菅原

道真公は、どんな人だったのでしょうか。

あわせてお楽しみください。

会員の高齢化と減少という厳しい現実がありますが、頭を使い大きな声を出すことは健康維持につながっていると思います。若い方々にも伝統芸能に興味を持っていただきたいと願っています。



ダンス、DE,

パフォーマンス

”2016“

芸能III部門 伊藤 好子

今年も文化祭の季節がやってきました！

12月4日(日) 13時より市民会館大ホールにて開催されます。

幼児から成人まで舞台発表に向け練習に励んでいます。

では、個性豊かな4団体を紹介させていただきます。

♥ 身体能力を活かした優雅な動き、華麗で自由な演舞が魅力的な、モダンバレエ。

◆ 足の打ち鳴らしや腕の動き、生演奏の音色や憂いを帯びた唄は情熱的な、フラメンコ。

♠ すらりとした姿勢、清楚なコスチューム、しなやかな動作、華やかな群舞と音楽が一体になって物語りとなるバレエ。

♣ 様々な楽曲で簡単明瞭な表現方法で、自己表現することのできる要素をもったジャズダンス。

本番まで数カ月となりました。今年も各団体、演出、衣装、構成に趣向をこらし、出演者とお客様が一体になれるような舞台づくりに頑張っています。

ご来場お待ちしております。



平成 28 年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

| 申請者 | 事業名 | 開催期日 | 開催場所 |
|---------------------|--|-----------------|------------------|
| 芳流 紫野会 広瀬保子 | 芳流 紫野会 20 周年記念発表会 | H28.6.4 | 桑名市民会館小ホール |
| ぐるうぶ雑劇 吉田敏男 | ぐるうぶ雑劇 第 35 回展 | H28.8.10 ~ 8.14 | 桑名市博物館 |
| Piano study 水谷直美 | 第 5 回 Piano study 音楽発表会 | H28.11.23 | 桑名市民会館小ホール |
| 表千家 小川章子 | 第 22 回 みえ県民茶会 | H28.10.16 | 六華苑 桑名別院 |
| 多度雅楽会 田中松緑 | 桑名六華苑 春の舞楽会 | H28.5.14 ~ 5.15 | 六華苑 |
| 女声合唱団くわな市民コーラス 三田亮子 | 第 22 回 くわな市民コーラス演奏会 | H28.6.5 | 桑名市民会館大ホール |
| 桑名国際美術交流会 水谷桑丘 | 第 13 回 日韓友好親善美術展 | H28.5.4. ~ 5.8 | くわなメディアライヴ多目的ホール |
| 桑名愛石会 中山雅幸 | 桑名愛石会第 41 回水石展 | H28.5.20 ~ 5.22 | くわなメディアライヴ多目的ホール |
| 桑名美術クラブ 安田隆亮 | 桑名美術クラブ 40 周年記念展 | H28.10.6 ~ 10.9 | くわなメディアライヴ多目的ホール |
| 金雀枝短歌社 上田順子 | 「金雀枝」創刊 90 周年記念短歌大会 第 20 回 一楓・山城顕彰短歌大会 | H29.3.12 | 桑名シティホテル 5F |
| 桑名萬古陶芸協会 森工人 | 桑名萬古陶芸協会展 | H28.7.20 ~ 7.24 | 桑名市博物館 |
| 桑名弦楽合奏団 鷺野高明 | 桑名弦楽合奏団第 31 回定期演奏会 | H28.7.17 | 桑名市多度公民館 |
| 金田枝里香バレエ教室 金田枝里香 | 金田枝里香バレエ教室第 15 回発表会 | H28.4.17 | 桑名市民会館大ホール |

ありがとうございました
〜我団創立三十八年〜

音楽部門 くわな市民コーラス
三田 亮子

若葉薫る6月5日、大ホールにて、第二十二回演奏会を開催させていただきました。

冒頭の市長様のお言葉にもありましたが、多くの方々にお越しいたゞき、感謝の心と共に演奏し、ホールに響くハーモニーを皆様と一体となり楽しみました。ヴァイオリン金森圭



第22回 くわな市民コーラス
2016年6月5日(日) 桑名市民会館 大ホール

司氏の「情熱大陸」全ての人が魅了されました。重厚なハーモニーの「わ

をん」の方々のポップスには男声合唱の新たな魅力を。そして私達女声合唱の良さを引き立てられ、高い評価をいただきました。

「アヴェヴェルムコルプス」「あさが来た」では、混声の魅力と私達の可能性を感じていただけましたか。そして、素敵な歌「いま、ここから」に感動していただけましたでしょうか。良い歌を歌いたいです。これからの応援よろしくお願いたします。

芳流
紫野会発表会

芸能I部門 芳紫野(水野圭子)

爽やかさを感じながらも薄ら汗ばむ六月初旬、芳流舞踊・紫野会第二回発表会を桑名市民会館小ホールで行いました。

一、紫野会の舞踊を「見ていただきたい、見て下さい」と積極的な心情で踊り、観客と共感したい。

二、健康維持の為に踊り、歌っている地元のシニアの仲間に、舞台上立つ醍醐味、そして観客と共感する喜びを味わってもらおう。

開幕から満席状態の中で、スムーズに演目が運び、終わってみれば興奮と感激の出演者、そして会場の人々

の温かい眼差しで終了していただきました。

拙い技量に未熟な私達でしたが目標に向かって努力した、「一生懸命さ」が会場に伝わった発表会だったと実感致しました。

舞踊は、振りと感情が一致して躍動感と感動が伝わるものです。私達芳流舞踊の家元の志、表現を学び稽古を重ねておりますが、美しい動き、豊かな表情を求め続けてゆきます。

開催に際して多大な協力を頂いた桑名文化協会様、市民会館のスタッフの方々に深く感謝してやみません。ありがとうございました。



この流技紹介

香道へのいざない

茶華香道部門 志野流

近藤 ゆう

香道は、室町時代東山文化の、リーダ―足利義政や、志野宗信、三条西実隆らによって、茶道や華道とならぶ、芸道として体系化されました。当志野流は、その志野宗信を流祖として、以来五百年、受け継がれています。



来たる十一月三日の桑名市民芸術文化祭に、六華苑にて参加します。

天然の香木の香りを、体験していただき、奥深い香道の世界を、わずかでも実感していただくことを、おすすすめします。

志野香道桑名教場は、昭和二十五

年に開設され、現在に至ります。月二回教室を開き、香りを楽しんでおります。

大正琴に魅せられて…

芸能I部門 琴伝流大正琴桑会

清野 琴誉

大正琴は、大正元年、名古屋の大須で誕生しました。当時は二弦琴を原形にタイプライターのキーボタンとピアノの音階配列を組み合わせ、一つのキーボタンで一つの音しか出せない単音楽器でした。

昭和50年頃より琴の胴の長さや弦の太さを変えて、中音のアルト琴・低音のテナー琴、さらに低いベース琴が開発されて和音で弾けるようになり、飛躍的に音楽の幅が広がりました。

ソプラノ琴での一人弾きは、どこか物悲しい琴の音。弦を上下に震わせて奏でるトレモロは琴線に触れ、仲間と音を重ねて一つの曲になった時の達成感は何ものにも代え難い心地よさです。

一人から少数人数のグループ、そして大合奏まで、自分に合った楽しみ方をチョイスして、音楽のある豊かな人生を過ごしていきたいと考えています。しかし、近年では邦楽人口が減少の一途をたどっており、本当

に残念でなりません。

若い担い手不足も課題のひとつであり、それは大正琴の魅力の発信不足かもしれないと「何か出来ることはないか」と思っていたところ、今年は例年になく、各方面から演奏依頼のお声がけを頂き、日々の練習の励みにもなっております。この「文協のおたより」がお手元に届く頃の九月十八日(日)には、六華苑にて一年半ぶりのミニコンサートを開催致します。

国の重要文化財である六華苑は大正二年に施工され、他に六棟が有形文化財、離れは市の有形文化財に、そして庭園は平成十三年に国の名勝に指定されており、まさに大正琴と同じ時代を過ごしてきた幼なじみと言ってよく、大正琴の音色に乗せて、重要文化財鑑賞に庭園散策と、穏やかな秋の一日をお過ごし頂ければと願っております。

このような出合いの場を、沢山作って、大正琴の楽しさを、大正琴を愛する仲間たちと共に、広く発信し続けていきたいと思っております。



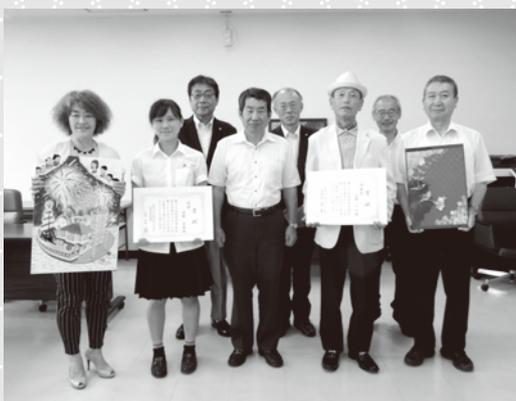
第25回 桑名市民芸術文化祭

ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、市内在住の近藤ナオさんの作品が選ばれました。佳作には市内在住の高校2年生、浅野未華さんの作品が選ばれました。

近藤さんの原画は、鶴が天から桑名の「く」の字を描いて降りてくるイメージのCG技術を駆使したグラフィックアートです。作品の右下にはピンクの花水木を左上には花菖蒲をあしらひ、バックはまぐりの中に三羽の鶴が入った紋が描かれています。

7月27日(水)に、関係者による表彰式が行われました。



桑名地名あれこれ(15)

社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩

〓外面(とも)〓

本年五月に開催のG7伊勢志摩サミットの関連行事として、青少年の間の国際交流と意識高揚を目的とした中高生のサミット「二〇一六年ジュニア・サミット・in三重」が四月22〜28日に、本市ナガシマリゾートを主会場として開催され23日には、ユネスコ無形文化遺産を目指す「桑名石取祭」祭車13台での歓迎行事と各代表者の体験がありました。伊勢大橋〜河口堰橋上を渡り、なばなの里へ向かう祭車群の光景は空前の圧巻でした。

ところでこの長良川河口堰の位置するところは長島町の十日外面です。正保三年(一六四六)時の長島城主松平定政が自ら奉行してわずか十日間で築き立てたことより名づけられたようですが、外面は「とも」と読みます。長島町内には他にこのような地名として、西外面・源部外面・藤久郎外面・前山外面があります。木曾・長良・揖斐の三大川が落ち合う輪中地帯で、次第に下流に向かって新田開発が進む中で、比較的早い時代に「外海に面した農地」として開発されたところです。

一般的に江戸時代の開発とされる〇〇新田、それ以前と言われる〇〇一色や、志摩・東紀州にみられる〇〇浦・〇〇竈などと同じく〇〇村並みの接尾辞ですが、それぞれ源部新田・十日新田・藤久郎新田・前山新田とも称されていたのに比べ、西外面だけは人々が居住し始めた記録資料が見つからないほど古く、寛元三年(一二四五)の神社勧請という、幕藩体制以前からの古い村であるため、西新田と書かれたことはなく、明治五年大区小区制施行時の名簿でも「西外面村」となっています。



長島町十日外面の長良川河口堰橋上を行進して、なばなの里駐車場へ向かう石取祭車(4月23日)

ご賛助いただいたいております 特別会員の皆様

(五十音順)

- 医療法人誠会 山崎病院様
- お菓 子 処 「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社朝日精工様
- 株式会社 歌 行 燈 様
- 株式会社グラソール様
- 株式会社ケイディーエンジニア様
- 株式会社山王鉄工所様
- 株式会社水谷精機工作所様
- 株式会社レイ・ステージ桑名様
- 桑 名 シ テ イ ホ テ ル 様
- 桑 名 信 用 金 庫 様
- 在日本大韓民国三重県桑名支部様
- 茶 道 具 山 水 園 様
- 中央不動産株式会社様
- 辻内鋳物鉄工株式会社様
- 兎 月 堂 様
- 花 新 江 場 中 店 様
- 花 新 江 乃 舎 様
- 光 精 工 株 式 会 社 様
- ヒルカワ金属株式会社様
- 三重精機株式会社様
- もり え い 病 院 様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有 限 会 社 茶 茂 様

日頃の協力に対しまして、深くお礼申し上げます。



広報委員会では、各部門の代表者が集まり、1度の発行につき4回ほどの会議を重ね、おたよりの編集作業を行っています。

このようにご紹介すると、少しお堅いイメージがあるかもしれませんが、そのようなことは全くなく、終始和やかな雰囲気で開催されています。他の部門の方が書かれたおたよりの原稿を全員で読み、言い回しにわかりにくいところがないか、それぞれの感性を持って確認しあいます。ときには知らなかった分野への教養や桑名市の歴史に触れる機会もあり、「なるほど」「そうですか」と感嘆の声が聞こえる場面も多く見受けられます。

同じ時間、場所に会し、分野や世代を超えて、知識を共有しながらひとつのものを作り上げるということは、実は日常生活の中であまり体験できないことではないでしょうか。

今回のおたよりも、そんな和やかで有意義な時間の中、愛情をもって作られました。その雰囲気を読者の皆様に少しでも伝われば幸いです。(内山亜美)

| | |
|---------|-------|
| 広報担当副会長 | 丹羽 宗俊 |
| 広報担当副会長 | 安田 治三 |
| 委員 文学部門 | 上田 順子 |
| 委員 美術部門 | 安田 誠 |
| 委員 音楽部門 | 石川 郁子 |
| 芸能I部門 | 村瀬 昌子 |
| 芸能II部門 | 山田 岳峰 |
| 芸能III部門 | 伊藤 好子 |
| 演劇部門 | 内山 亜美 |
| 社会文化部門 | 大河内 浩 |
| 茶華香道部門 | 三浦 幸子 |
| 趣味教養部門 | 加藤 誠 |